

2012年も早、半年が過ぎてしまいました。この半年を振り返ると、短い間に様々な“事件”が起きたように思います。まず小沢一郎氏が民主党を離れ、またもや新党を結成したことが思い浮かびます。新聞を始めマスコミは一律に反小沢の論調で報道を行っています。私は親小沢派ではありませんが、小沢氏がマスコミの言うような悪人であれば、なぜ14回も国会議員に当選し、新党結成にあれほど多くの議員がついていくのでしょうか？ 小沢氏に投票した国民はみなバカで、小沢系の国会議員は見識もなくただ再選したいだけということなのでしょう。どの新聞の記事を読んでも“報道”ではなく“誘導”しているように思っています。もう一つ思い浮かぶ事件は尖閣諸島問題です。石原都知事が尖閣諸島は都が購入すると突然言い出したと思ったら、今度は野田総理が国として購入すると言い始めました。これを書いている時点では未だ決まっていますが、尖閣諸島は日中間に横たわる大きな問題となっているのは間違いないでしょう。他にも名古屋市長の南京事件に対するコメントが波紋を広げています。このような日中間の政治問題は私たちの学会活動と関係はないのかというと、じつは少なからず影響がありえるのです。他の学会では中国からの招待講演者が来日できなくなるという事態が起こっているのです。純粋な学術活動に政治を持ち込むことは長期的には決して良い影響を与えないと思うのですが、その声はなかなか届かないようです。

さて、本号から新しい企画が始まりました。「臨床報告」という論文のカテゴリーを新たに設けました。これは学会ホームページ上で連載されている「症例コーナー」の症例を論文形式にして掲載したものです。学会誌に論文として掲載することにより他の論文に引用できるようになり、学術的価値が高まるのです。

来る9月1日2日には第2回学術総会が開催されます。昨年同様にレベルの高い発表については本学術雑誌で論文として掲載していきたいと考えています。多くの皆様が学術総会に参加されることをお願い致します。

2012年7月

日本中医学会理事長

日本中医学会雑誌 編集委員長

酒谷 薫